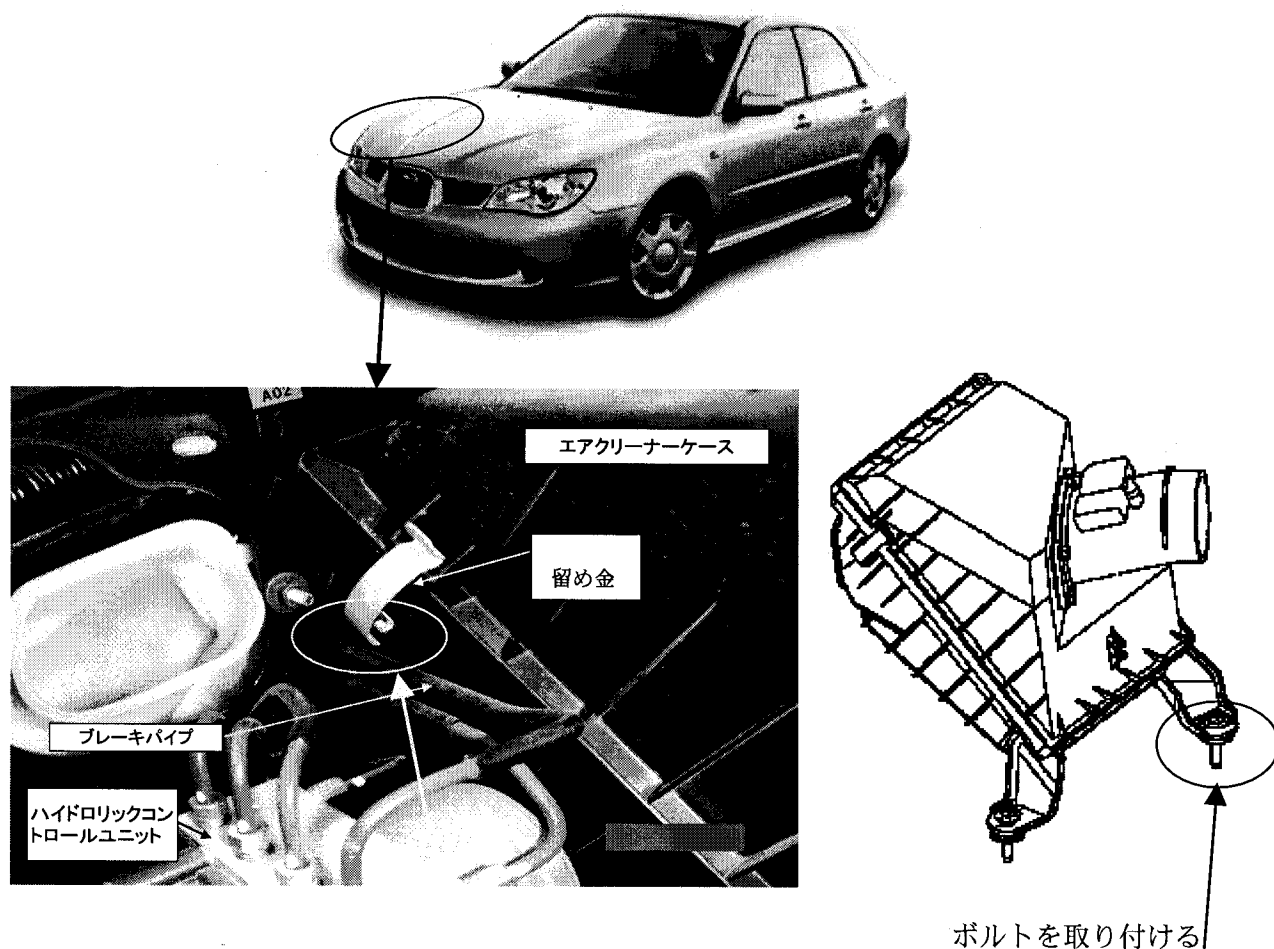


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

エアクリーナーケースの固定方法が不適切なため、走行時の振動等によりブレーキパイプとエアクリーナーケースの留め金が干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプが損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善内容

全車両、エアクリーナーステーをボルトで固定するとともに、ブレーキパイプに損傷がある場合は、当該パイプを新品に交換する。

識 別

追加したボルトの頭に白色のペイントを塗布する。